令和３年７月１日
青森県病害虫防除所

令和３年　病害虫防除指導情報　第６号

作 物 名：じゃがいも
病害虫名：疫病

疫病の発生が確認されています。
薬剤防除を徹底し、まん延を防止しましょう。

１　疫病の発生状況

（１）6月30日～7月1日の特別巡回調査において、県南地域の１地点でジャガイモ疫病の発生が確認された。平年の初発時期は6月25日頃であり、平年よりやや遅い発生となっている。
（２）東北北部は6月19日に梅雨入りしており、特に県南地域では濃霧や霧雨の日が多く、本病のまん延、拡大が懸念される。

２　防除対策

（１）発生が認められたほ場では、まん延防止のため、５～７日間隔で薬剤散布を行う（表１）。
（２）曇雨天の日が続く場合には、散布間隔が10日以上あかないように降雨の合間に薬剤散布を行う。
（３）薬剤抵抗性の発生を防止するため、同一系統の薬剤は連用しない。

【ジャガイモ疫病の発病株】

【葉裏に白いカビを形成】

【葉裏：ジャガイモ疫病の分生子柄と遊走子のう】

表１　ジャガイモ疫病防除薬剤一覧

薬剤名	有効成分	FRAC コード	使用方法			
			希釈倍数	使用時期	使用回数	成分総使用回数
リドミルゴールドＭＺ	メタラキシルM	4	500倍	収穫30日前	1回	メタラキシル及びメタラキシルMを含む剤 3回以内
	マンゼブ	M03				10回以内（無人航空機散布は3回以内）
フロンサイド水和剤	フルアジナム	29	2000倍	収穫14日前	4回	6回以内（但し、種いも浸漬は1回以内、植付前の土壌混和及び植付時の植溝散布は合計1回以内、植付後の散布は4回以内）
フェスティバルM水和剤	ジメトモルフ	40	750倍	収穫14日前	3回	3回以内
	マンゼブ	M03				10回以内（無人無人航空機散布は3回以内）
フェスティバルＣ水和剤	ジメトモルフ	40	400～600倍	収穫14日前	3回	3回以内
	塩基性塩化銅	M01				－
ベネセット水和剤 カンパネラ水和剤	ベンチアバリカルブイソプロピル	40	1000倍	収穫7日前	5回	5回以内
	マンゼブ	M03				10回以内（無人航空機散布は3回以内）
ベトファイター顆粒水和剤	シモキサニル	27	1500倍	収穫7日前	4回	5回以内
	ベンチバリアカルブイソプロピル	40				4回以内
カーゼートＰＺ水和剤	シモキサニル	27	800倍	収穫7日前	4回	4回以内
	マンゼブ	M03				10回以内（無人航空機散布は3回以内）
ホライズンドライフロアブル	シモキサニル	27	1500～2500倍	収穫14日前	4回	4回以内
	ファモキサドン	11	1500倍			4回以内
ランマンフロアブル	シアゾファミド	21	1000～2000倍	収穫7日前	4回	4回以内

注）じゃがいもの農薬登録上の作物分類は「いも類」であり、「野菜類」ではないため、「野菜類での登録農薬は使えないので注意する。

―――― 農薬を使用する際には必ず最新の農薬登録情報を確認してください ――――

短期暴露評価の導入により使用方法が変更される農薬は、登録内容の変更前であっても、変更後の使用方法で使用する必要があるため、変更の有無を次のＷｅｂサイトで確認してから使用してください。

農林水産省「農薬登録情報提供システム」　https://pesticide.maff.go.jp/
（独）農林水産消費安全技術センター「農薬登録情報・速報」
http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm

～青森県農薬危害防止運動展開中！（5月1日～8月31日）～
○農作物や使用者の安全のため、農薬は使用基準を守って使用しよう！
○農薬散布の際は、周辺に農薬を飛散させないようにしよう！

県民の皆さまへのお願い
新型コロナ感染拡大防止
https://www.pref.aomori.lg.jp/koho/covid19kakudaiboushi.html

【この情報に関する問合せ先】
青森県病害虫防除所　担当：主幹　品川　聖也
〒030-0113　青森市第二問屋町 4-11-6
TEL:017-729-1717　FAX:017-729-1900